



# 森づくりサポーターニュース

令和元年（2019年）9月15日号

びわこ地球市民の森（森づくりセンター）

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312  
メールアドレス biwako@morigukuri.info URL http://www.morigukuri.info

## 新しい時代に期待される森のあるべき姿 (シリーズ2)

この夏も長梅雨の後、35℃以上の猛暑日が続き、その後は台風や前線の影響で大雨も降りました。やつと数日前からツクツクボウシが鳴き始め、秋が忍び寄ってきました。

多くの皆さんに植えていただいた植栽木（苗木）で最初に植えたものは、樹齢20年になりました。もう立派な成木です。約16万本の苗木は落葉樹が圧倒的に多いのですが、その落葉樹のベスト3は、クヌギ、コナラ、ヤマザクラです。常緑樹のベスト3はアラカシ、スダジイ、シラカシです。この中で、ドングリのなるブナ科の木は、5／6を占めています。90種の中でもブナ科植物は15種と約17%を占めますが、数では約16万本中67,000本で約42%とさらに大きな数値を示しています（植栽数による）。子供たちが大好きなカブトムシやクワガタムシも今年の夏はそこそこ出ていたと思われますが、虫たちが好きなクヌギやコナラも大きくなり、そろそろ樹液を出しかけてきました。仕掛けをしなくとも虫たちが集まつてくる日も近そうです。

これから森は秋に向かいます。落葉樹と常緑樹の比が5：2なので、落葉樹の紅葉、黄葉（共に「こうよう」）が広がっていきますが、私はもう一つ「茶褐色」の色があると思います。この森の紅葉は、ヤマザクラ、ヤマモミジの他に数本の自然生えのヤマハゼ、ヌルデなどがあるくらいで、目立つのは黄葉と茶褐色系の葉ばかりです。そしてほとんどの木が、ドングリをはじめ大小さまざまな大きさや色の実、種を着けます。カシワのように、落葉樹でありながら大きな茶褐色の葉を、春新葉が出るまで着けるものもあり、秋は森の実や葉っぱの魅力でいっぱいです。

今年はスダジイやクヌギなどのドングリが豊作の年のようにです。10、11月にドングリ拾いにやって来る、市内外の保育園や幼稚園、小学校の子供たちの喜ぶ顔が目に浮かびますが、紅葉、黄葉した木や茶褐色の木々を観たり、ガマズミやウメモドキなどが実を赤く熟れさせ、動物や鳥たちが喜ぶ様子も見てほしいと思います。



クヌギ・コナラ主体の森



ナラガシワ主体の森



カシワの群植



豊作のスダジイ



豊作のマテバシイ



## 紹介!! 「森づくりサポーター」活動団体 が増えました。

平成30年11月より、レイカディア大学草津校園芸学科39期生の「ENG39A」(22名)の皆さん、また平成31年4月からは、レイカディア大学草津校びわ湖環境学科39期生「LBK39」(22名)の皆さん、森づくり活動に参加されています。

毎月活動の登録団体が14グループとなります。これからも引き続き森の手入れ(育樹)や間伐材を利用したクラフト・「つどい」での体験コーナー(利・活用)など、いろいろとご協力・ご提案をいただいて、楽しく、健やかに、無理なく、活動していきます。

未来の子どもたちに引き継ぐ「森づくり」を、皆様とともに進めていきたいと思います。



ENG39A



LBK39



### お知らせ

#### 第3回森づくりサポーター活動のご案内

秋たけなわの絶好の季節に、今年度3回目のサポーター活動を開催します。  
多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

開催期日 令和元年10月12日(土)

開催場所 びわこ地球市民の森(つどいゾーン)

活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など



### 編集後記

今年の夏は猛暑の毎日でした。  
また、7月に開催したサポーター活動は台風の影響で野外での活動が取り止めとなりました。

天候に左右され活動にも影響を受けましたが、ようやく本格的な秋を迎えました。

森に親しみ、森で活動する絶好の季節です。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

#### 森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100 ~ 200 m
植樹面積	80,808 m <sup>2</sup>
植樹期間	H13 ~ H25
植樹活動参加者数	44,994人
植樹本数	160,967人
森への利用者数(H30)	186,720人
森づくり活動参加者数(H30)	7,445人
内育樹活動参加者数(H30)	2,846人

## びわこ地球市民の森



Vol.70

# 森づくりサポーターニュース

令和元年(2019年)9月15日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312  
メールアドレス biwako@morigukuri.info URL http://www.morigukuri.info

## 新しい時代に期待される森のあるべき姿 (シリーズ2)

この夏も長梅雨の後、35℃以上の猛暑日が続き、その後は台風や前線の影響で大雨も降りました。やつと数日前からツクツクボウシが鳴き始め、秋が忍び寄ってきました。

多くの皆さんに植えていただいた植栽木(苗木)で最初に植えたものは、樹齢20年になりました。もう立派な木です。約16万本の苗木は落葉樹が圧倒的に多いのですが、その落葉樹のベスト3は、クヌギ、コナラ、ヤマザクラです。常緑樹のベスト3はアラカシ、スダジイ、シラカシです。この中で、ドングリのなるブナ科の木は、5/6を占めています。90種の中でもブナ科植物は15種と約17%を占めますが、数では約16万本中67,000本で約42%とさらに大きな数値を示しています(植栽数による)。子供たちが大好きなカブトムシやクワガタムシも今年の夏はそこそこ出ていたと思われますが、虫たちが好きなクヌギやコナラも大きくなり、そろそろ樹液を出しかけてきました。仕掛けをしなくとも虫たちが集まつくる日も近そうです。



クヌギ・コナラ主体の森



ナラガシワ主体の森

これから森は秋に向かいます。落葉樹と常緑樹の比が5:2なので、落葉樹の紅葉、黄葉(共に「こうよう」)が広がってきますが、私はもう一つ「茶褐色」の色があると思います。この森の紅葉は、ヤマザクラ、ヤマモミジの他に数本の自然生えのヤマハゼ、ヌルデなどがあるくらいで、目立つのは黄葉と茶褐色系の葉ばかりです。そしてほとんどの木が、ドングリをはじめ大小さまざまな大きさや色の実、種を着けます。カシワのように、落葉樹でありながら大きな茶褐色の葉を、春新葉が出るまで着けるものもあり、秋は森の実や葉っぱの魅力でいっぱいです。



カシワの群植

今年はスダジイやクヌギなどのドングリが豊作の年のようにです。10、11月にドングリ拾いにやって来る、市内外の保育園や幼稚園、小学校の子供たちの喜び顔が目に浮かびますが、紅葉、黄葉した木や茶褐色の木々を観たり、ガマズミやウメモドキなどが実を赤く熟れさせ、動物や鳥たちが喜ぶ様子も見てほしいと思います。



豊作のスダジイ



豊作のマテバシイ



## 紹介!! 「森づくりサポーター」活動団体 が増えました。

平成30年11月より、レイカディア大学草津校園芸学科39期生の「ENG39A」(22名)の皆さん、また平成31年4月からは、レイカディア大学草津校びわ湖環境学科39期生「LBK39」(22名)の皆さん、森づくり活動に参加されています。

毎月活動の登録団体が14グループとなります。これからも引き続き森の手入れ(育樹)や間伐材を利用したクラフト・「つどい」での体験コーナー(利・活用)など、いろいろとご協力・ご提案をいただきて、楽しく、健やかに、無理なく、活動していきます。

未来の子どもたちに引き継ぐ「森づくり」を、皆様とともに進めていきたいと思います。



ENG39A



LBK39



### お知らせ

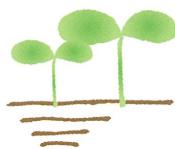
#### — 第3回森づくりサポーター活動のご案内 —

秋たけなわの絶好の季節に、今年度3回目のサポーター活動を開催します。  
多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

開催期日 令和元年10月12日(土)

開催場所 びわこ地球市民の森(つどいゾーン)

活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など



### 編集後記

今年の夏は猛暑の毎日でした。  
また、7月に開催したサポーター活動は台風の影響で野外での活動が取り止めとなりました。  
天候に左右され活動にも影響を受けましたが、ようやく本格的な秋を迎えました。  
森に親しみ、森で活動する絶好の季節です。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。



### 森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100 ~ 200 m
植樹面積	80,808 m <sup>2</sup>
植樹期間	H13 ~ H25
植樹活動参加者数	44,994 人
植樹本数	160,967 人
森への利用者数(H30)	186,720 人
森づくり活動参加者数(H30)	7,445 人
内育樹活動参加者数(H30)	2,846 人